

く負傷して居る一朝事あらば戦争にも出て行く、それで我等のみ政治に容喙出来ぬ
 云ふ法があるか、それは全く一種の奴隷であることは彼等の憤慨であります。これ
 は先づ第一知識階級と呼ばれる人々の間に起つて来た考へである。此種選法に於て
 時々起る民衆運動云ふものは其奴隷解放を叫ぶの聲であります。其數必ずしも大
 ならずとも其背後に之に共鳴する數限りなき無数の大民衆があることを忘れて
 はなりません。

尙ほ殊に注意すべきは近來に於ける労働者階級の態度であります。今日迄彼等は
 實の應酬りに壓迫せられて來つた爲め政治の考へを起す餘裕もなかつたのであ
 ります。然るに世界大戰の結果は我國をして何時迄も其壓迫を續くることをはら
 しため労働者法は出来ぬが事實は之を認めねばならぬ而して彼等は在外同胞の有様
 に存みて益々自重憤激する云ふのが現時の状態であります。彼等が先づ目覺めた
 るは手近の經濟上の問題であります。今日に於て彼等の政治的覺悟は非常な
 て來る云ふことは當然の成行であります。

ものであります。これは政府並に議員諸公は一向存在しないかも知らぬが吾々日頃
 彼等と接觸する者に於ては誠に其變化に驚歎する次第であります。彼等は皆云ふて
 居る我等は從來日本を最も善い國と信じて居つた然るに考へて見るとこんな労働
 者が居る様な境地に置かれて居る國が何處の世界にあるか、見よ労働組合法もない勞
 働保険もない病氣になるを勿ろ飢る餘我をするを飢る食を失へば困る飢る、飢さら
 んさしての自衛手段たる同盟罷工權すら我國では犯罪とせられて處罰せらるゝ無
 政治上の發言權は認められぬ、我等は一日も早く此境遇より脱せなければならぬ。
 我等を此境遇に置くもの首魁れ今日資本家本位の議會制度の致す所である、此制
 度に對して鐵槌を加へねばならぬことは我々の處の工場の間より起る聲である。此聲た
 るや水く之を阻止するときは我國家の將來に取りて是に危殆千萬なるものであつて
 私共外國に於ける労働問題社會問題の情勢に鑑み今日選挙法の根本的改正の一日も
 速に解決すべき急務たることを痛切に感ずるものであります。

以上を以て現在の選挙法の存続すべからざる所以の消極的理由の説明を終り更に